

日本財団によるボツワナ・オープン大学への図書寄贈

在ボツワナ日本国大使館

令和6年4月8日

4月5日、日本財団が助成する図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」により、ボツワナ・オープン大学へ日本関連図書107冊が寄贈されました。READ JAPAN PROJECTは世界における日本理解の促進を目的に、公益財団法人日本財団によって2008年に開始され、これまでに世界の1,300か所以上の図書館に、日本に関する英文図書の寄贈が行われています（事業主体は、2022年より公益財団法人東京財団政策研究所に移管）。

同大学にて行われた寄贈式典には、大森撰生駐ボツワナ日本国大使、モアヒ・コモツォ・ボツワナ・オープン大学副学長代理、同大学図書館情報サービス局長、大学関係者など約20名が出席しました。寄贈された書籍は、日本関連の経済、ビジネス、政治、国際関係、文化、芸術、歴史など様々な分野に及びます。

大森大使は本事業趣旨を説明するとともに、図書寄贈により、学生たちが専門知識を深めるだけでなく、日本に興味・関心を持ち、日本の文化、経済、歴史、さらにはテクノロジー技術について学ぶことができる旨述べました。モアヒ副学長代理より、日本財団及び東京財団政策研究所に対する謝辞が述べられ、書籍は学びのための貴重な財産であり、ボツワナ人学生に対する学習への投資であると、寄贈図書の活用について期待を述べました。

ボツワナでは、これまでにボツワナ大学をはじめ、7つの大学・研究機関に対して、本事業による図書寄贈が行われており、今回の図書寄贈は8校目となります。ボツワナ・オープン大学は、ボツワナに4校ある国立大学の一つで、通信制大学として、メディア授業やスクーリングなどの学習方法を提供しており、ハポローネ市内を含め国内に5つのキャンパスを有していることから、国内各地の学生による寄贈図書の活用が期待されます。



大森大使とモアヒ副学長代理



寄贈図書